



全校児童数  
296名

12月26日現在

永盛小 学校だより

永遠の杜 No.18  
夢・努力

文責：校長 松本 学



◇ 第2学期最終号 ◇

師走の慌ただしさも感じられないまま、雪が降る季節がやってきました。学校では明日、第2学期が終了を迎えます。子どもたちの大きな事故・事件等もなく、本日に至ることができましたこと、保護者の皆様と地域の方々の多大なご支援・ご協力の賜と感謝申し上げます。また、大震災・原発事故等の影響が大きい中、子どもたちは良く頑張りました。

また、学校だより（永遠の杜）をお読みいただき、ありがとうございます。全てを網羅できませんが、少しでもお子様の学校生活がご理解いただけたかなと思います。さらに紙面を工夫していきたいと思ひます。

さて、8月赴任から5ヶ月（授業日数＝83日）が経ちました。第2学期の反省に立ち、学校経営をさらに充実したいと考えております。いろいろご意見等いただければ幸いです。では、お子様と楽しい年末・年始の諸行事をお過ごし下さい。

第2学期成果と課題

◇学校だより第1号(8月25日発行)から◇  
～学校の運営方針～

重点1

- 礼節を重んじる児童の育成
  - ※ 誰にでも挨拶ができる
  - ※ お掃除を一生懸命にする
- 事故に遭わない児童の育成
- 思いやりのある児童の育成

重点2

- 放射線対策等「安心安全な学校」づくり
- 心身の健康づくり
- 保護者・地域連携体制の確立

重点3

- 「分かる授業」の提供

《重点1》②事故に遭わない児童の育成



○校内行事等での怪我等ありましたが、重篤な怪我や事故等はありませんでした。（今後、校舎内での事故、冬場の交通事故防止指導に努めます。）

《重点1》③思いやりのある児童の育成

○一部、心ない言動で、注意を受けたり、悩んだりした児童もいました。これは、全児童・全職員の努力で、クラス内に「いじめ・暴力・不正を許さない雰囲気作り」が浸透し始めました。



《重点2》心身の健康作り

●高学年については、持久力、走力、瞬発力、柔軟性が例年に比べて落ちています。今後の学校体育等の見直しを図ります。さらに次年度以降、校庭の積極的活用も視野に入れます。

※8月の赴任早々に保護者の皆様へ左記の学校運営方針をお示しいたしました。これに基づき、成果と課題を述べます。あくまでも学校内の評価です。

《重点1》①礼節に関すること

・挨拶やお掃除は、社会生活において、とても重要な「人間関係力育成」手段で、ややもするとそれで「人」が判断されることもあります。大切です。

○児童会運営委員会・教師の毎朝の「挨拶呼びかけ」等で、気持ちの良い挨拶ができるようになってきました。



●学校へのお客様・地域の方々への挨拶はまだです。保護者の皆様がお手本を！

○お掃除は、一生懸命に取り組んでいます。（外掃除や窓ガラス拭きはやっていません）



《重点2》①安心・安全な学校づくり

○放射線対策・地震対策・水害対策等、保護者・地域の方々とのような連携をとり、情報を共有し、もしもの時の初動対応・連絡体制を



確立させていくことが今後の課題です。○不審者の侵入防止が徹底された学校環境を作りたいと思ひます。

## 《重点2》保護者・地域連携体制

- 野外活動の制限等もあり、今年度は、野外での学習活動が十分ではありませんでした。地域の伝統文化や地域教育力の活用等計画的に進めていきたいと思っております。(教育課程への積極的な位置づけ)
- 前述の学校の安心・安全に向けても、協力体制を作りたいと思っております。

## 《重点2》分かる授業の提供



○ 第2学期は、校内の授業研究会6回、校長の授業参観12回、小中連携授業研究協議会を充実させ、教育力の向上を図りました。次年度も学力面の学校課題を焦点化させ、

児童にとって「日々の分かる授業の提供」と「職員の研修」をさらに充実させていくことが課題です。

## ボランティア委員会の活動

12月21日(水) 13:00～、ボランティア委員会が中心になって集めた「赤い羽根募金」「歳末助け合い募金」を全額、郡山市社会福祉協議会の方にお渡ししました。永盛小学校へお出でいただき、校長室で贈呈式をしました。この浄財は、体に障害を抱えた方々が暮らしている施設や作業所等に分配されるとのことでした。市社会福祉協議会副会長様から募金の使い途をお聞きして、ボランティア委員会の代表児童は、しきりにうなずいていました。自分たちが集めたお金の使い途を詳しく知り、改めて自分たちのボランティアの意義を感じたようです。



◇ 閑話 休題 ◇

### 放射線と子どもの講演会

すでにお手元に届いていると存じますが、青少協主催の「菊池信太郎」医師の講演会(2月5日:日曜日)は、大変有意義な講演会です。ぜひ、お申し込み下さい。お勧めです。

## 冬季休業中の事故防止(お願い)

### 1 交通事故防止指導(大切なお子様の命を守る)

- (1) 雪道や凍った道での自転車乗り禁止とヘルメット着用
- (2) 大きな道への飛び出し禁止(いったん停止)
- (3) 道路での遊び禁止

**合言葉**  
「自分の命は自分で守る」

### 2 不審者等による事故防止

※「永盛では、新聞報道されている事件など、おこるはずがない？」意識の変革

- (1) 暗くなる前の帰宅(16:00前には、既に暗くなります)
- (2) 不審な車や人には決して近寄らない。
- (3) 一人で寂しい道を歩かない。
- (4) 疑わしければ、即「110番通報」(不審者・不審電話等)
- (5) 繁華街へは、必ず保護者同伴で!(犯罪に巻き込まれない)

### 3 家庭学習の指導

※長期の休みを活用して、普段なかなかできない「読書」なども。

※学校の学習内容は、繰り返さないと何も身につけません。また、すぐ忘れます。休み中も、一定の学習時間で継続的に学習をすることで、3学期につながります。

### 4 年末・年始の家庭・地域行事に参加を(豊かな心育成)

※子どもたちに日本の伝統文化・心を伝承することが大切です。各種地域行事に参加させたり、家庭行事等での役割を与えたりしてください。